

自己評価の観点		評価
5. 1歳以上3歳未満月の保育に関わるねらい及び内容		
健康	①生活リズムについては一人一人の子どもの状態に合わせて対応しているか	4.4
	②走る、跳ぶ、登る、押す、引っ張るなど全身を使う遊びを取り入れているか	4.8
	③楽しい雰囲気の中、自分で食べようとする気持ちを大切にしているか	5
	④身の回りを清潔に保つ心地良さを感じ、その習慣が少しずつ身につくように援助しているか	4.8
	⑤子どもが自分で衣服を着脱しようとする気持ちを尊重しているか	4.5
	⑥一人一人の排泄状況に応じた配慮をしているか	4.5
人間関係	①保育士等との安心したかかわりの中で、園生活を送れるようにしているか	4.8
	②他の子どもとの関わり方を少しずつ身につけられるよう仲立ちをしているか	4.7
	③自分の思いを伝えたり、相手の思いに気付いたりする経験を重ねていけるよう援助しているか	4.7
環境	①玩具や遊具は安全で、子どもの興味や発達に合った物を選び使用させているか	5
	②積極的に戸外遊びを取り入れて身体の発達を促しているか	4.7
	③見る、聞く、触れるなど感覚の働きを豊かにしているか	4.8
言葉	①楽しい雰囲気の中で、保育士との楽しい言葉のやり取りができるようにしているか	5
	②絵本の読み聞かせや紙芝居など積極的に取り入れているか	4.8
表現	①水・砂・土・紙・粘土などさまざまな素材に触れて楽しませているか	4.7
	②音楽、リズム、わらべ歌などに親しみ、数や手遊び、全身を使う遊びを取り入れているか	4.5
	③子どもの表現をしっかり受け止め、共感しているか	4.7
保育の実施に関わる配慮事項	①体の状態、機嫌、食欲など日常の状態の観察を十分行うことで感染症を予防しているか	5
	②事故防止に務めながらさまざまな遊びを取り入れているか	5
	③進級などで保育士が変わる場合は、子どもの発達に留意し職員間で協力して対応しているか	4.7
6. 保育の実施に関して留意すべき事項		
保育全般に関わる配慮事項	①一人一人の子どもの心身の発達及び活動の実態などの個人差を踏まえ、気持ちを受け止め援助しているか	5
	②子どもが安心感を持ち、生活できるように配慮しているか	5
小学校との連携	①小学校との意見交換や合同の研究の機会などを設けて情報共有や連携を図っているか	
地域との連携や子育て支援	①学生の体験保育の人々の受け入れを行っているか	4.5
	②地域の方達へ積極的に挨拶など行い、交流ができる様な雰囲気を作っているか	4.5
	③参観やスライド会等を通して、子育ての助言や相談ができていますか	4.2
7. 子どもの健康支援		
健康発達	①保健年間計画に基づき一人一人の子どもの健康の保持及び増進に努めているか	5
	②感染症発生時に、発生状況や感染予防について保護者に通知しているか	5
	③不適切な養育の兆候が見られる場合には、市町村と連携が取れるように子どもの情報を職員間で共有しているか	4.7
健康増進	①身体測定や健康診断の結果について定期的に記録し、子どもの健康状態を保護者や職員に伝達し、それを保育に反映しているか(適宜な対応も出来ているか)	4.8
	②子どもの健康情報を共有し、子どもの既往症(アレルギー・熱性けいれん・脱臼癖・喘息など)についてすべての職員に周知するとともに発生時の対応が行われているか	5

疾病等への対応	①アレルギー疾患、慢性疾患を持つ子どもに対し、主治医からの指示を得て、適切な対応を行っているか	5
	②アレルギー疾患を持つ子どもに対し、栄養士、調理員と連携を持ち、個々に合わせた対応を行っているか	5
8. 食育の推進		
保育所の特性を生かした食育	①食育計画のもと、発達に応じた食生活が展開され、適切な援助を行っているか	4.7
	②偏食を直そうと、無理に食べさせようとしたり、残さず食べる事を無理強いしたりせず、個々に合わせた量を配膳しているか	4.7
	③乳幼児にふさわしい食生活が展開されるよう、調理担当者と保育士が連携して見直しや改善を行う話し合いの場が設けられているか	4.7
	④乳幼児に身につけておきたい挨拶や姿勢、食具の持ち方など食事のマナーを伝えているか	4.8
	⑤調理担当者と子どものコミュニケーションが図られるようにしているか	3.7
食育の環境整備	①調理員、栄養士、保護者と連携を持ち、個々に合わせた対応を行っているか	4.6
	②子どもが栽培、収穫した物や調理したものを食べる機会をつくるように心がけているか	4.8
9. 環境及び衛生管理並びに安全管理		
環境及び衛生管理	①園内の清掃がなされ、清潔に保たれ、子どもが心地よく過ごせるように配慮しているか	4.8
	②生活の場面に合った保育士の声、音楽など音に配慮しているか	4.2
	③園内に子ども達が季節感を味わえるような工夫をしているか	4.6
	④屋外での活動の場が確保され、子どもたちが活動しやすいように工夫されているか	5
	⑤子どもが活動しやすいように保育室の温度、湿度、換気、採光などに配慮しているか	4.8
	⑥新型コロナウイルス感染拡大防止への対応に務めているか(換気・消毒の徹底・密を避ける等)	5
事故防止及び安全対策	①睡眠中、水遊び中、食事中などの場面で重大事故が発生しやすいことを認識し、事故防止に努めているか	5
	②外部からの侵入に対し、対応できるよう職員間で確認しているか	4.8
10. 災害への備え		
安全確認	①消火器・火災受信機・配電盤の設置場所が分かり、操作方法を知っている	4.7
	②施設内外の設備及び用具などの衛生管理に努めているか	4.7
	③事故防止・安全管理の為にチェックリストを使い定期的に点検、確認が行われているか	5
	④食中毒や感染予防の具体的な取り組みを行っているか	5
	⑤事故や災害に適応できるマニュアルをすぐに見る事ができるようにしているか	5
避難への備え	①さまざまな災害を想定した避難訓練を行っているか	5
	②保護者との連絡体制や被災した場合の園の体制等も保護者へ伝えられているか	4.7
連 携	①地域や地域の関係機関と連携を取り、協力が得られるように努めているか	3.8
11. 子育て支援		
支援と留意事項	①保育士は日常、保護者や子どもの様子を注視し、虐待の予防や早期発見に努めているか	4.7
	②保護者が、子育ての悩みや心配事を安心して話せる存在になるよう心がけているか	4.6

保護者との相互理解	①送迎の際の対話や連絡帳への記載などの日常的な情報交換に加え、別に機会を設けて相談に応じたり、個別面談を行っているか	4.8
	②家庭の状況や保護者との情報交換が、必要に応じて関係職員に周知されているか	5
	③「園だより」や「クラスだより」などを定期的に発行しているか	5
	④予め年間行事の日程を知らせ、保護者が保育参加の予定を立てやすくしているか	5
	⑤子どもに障害や発達上の課題が見られる場合は、各関係機関と連携や協力を図り、保護者に対する個別の支援を行うよう努めているか	4.5
	⑥外国籍など、特別な配慮を必要とする家庭の場合には状況等に応じて個別の支援を行うよう努めているか	4.6
地域の子育て支援	①地域における子育て支援を実施し、地域の子育て支援ニーズを把握するように努めているか	3.5
	②子育て支援の情報提供をしているか	4
連携	①子どもの医療や保健に関する問題について、連絡、相談する外部の関係機関を把握しているか	4.1

12. 職員の資質向上

保育所職員に求められる専門性	①相手の立場にたった挨拶、電話、来客者応対ができるか	4.5
	②自己の健康管理ができているか	4.4
	③保育業務の中で知り得た子どもや家庭に関する秘密の保持について、全職員に周知し、守られているか	5
	④保護者や地域の人からの相談事について、プライバシーの保護、話された内容の秘密保持を徹底し、守られているか	5
質の向上に向けた組織的な取り組み	①業務遂行にあたって、正確、迅速かつ、報告・連絡・相談を実践しているか	4.6
	②公平に人の話を聞いたり、話ができ、正確に伝達できるか	4.6
	③問題意識を共有しながら職員間で共通理解し、協力しているか	4.7
研修の活用	①園内研修を行っているか	4.7
	②各職員について、適切な研修機会の確保を行っているか	4.7

<令和2年度 総合評価と反省>

令和2年度は新型コロナウイルス感染防止の対応をまず、念頭に置いて何事も進める1年だった。初めての経験に戸惑いは大いにあったが、以前「新型インフルエンザ」の対応について検討や記録を残していたので今回参考にすることが出来た。やはり、記録は大切な事だと切に感じた。

コロナ禍の中での保育が自己評価につながる面も多かったと思う。

まず、①行事が運営できない為に保護者との直接的な関りが出来なかった。

②地域の方との交流や小学校との連携も見送る事となった。

③給食職員の感染は食事の提供の上で直接影響する事なので園児との交流を控えた。

④園内での子どもだけ参加の行事にしてもクラス別に行う等、全体としての関りが出来なかった。

出来ないことをどのように保護者や子ども達に伝えていくか大きな課題となった。

その中でも、①自粛中に保護者へ手紙を送ったこと ②電話で直接声を聞き近況を訪ねた事

③運動会では遊戯室を利用し「運動会ごっこ」をDVDに収め全園児に配布した事

④生活発表会では2歳児のみ人数制限の上行い、0歳児1歳児はステージでの姿をDVDに収め配布した事 ⑤健康管理を更に見直し、健康チェック表等を作成の上保護者にも感染予防の意識を促している事

また、自己研鑽・資質向上につながる研修では、園外の研修会もほとんど中止となった。

今後はリモートでの参加となる事だろう。環境も整えていきたいと思う。

園内研修では「言葉の発達について」職員間での問題意識や学びに大いにつながる内容だった。

来年度も園内研修は継続して「言葉の発達について」深めていきたいと思う。